

魚の城下町

羅臼町広報誌

5
2009

No. 234

みんなが主役のまち



**母ちゃんの熱気に
寒さも吹き飛ぶ!!**
～母ちゃんのごっこ市～

「らうす産業活性化プラン」ができました

産業の活性化、地域活力の再生をめざし、昨年4月に役場内に設置された「羅臼町産業活性化プロジェクト」では様々な取組を進めてきましたが、このたび、町内が連携し一体となって進めるべき取組をお示しする「らうす産業活性化プラン」を決定しました。

■らうす産業活性化プランとは

当町の基幹産業である漁業を中心とした産業の活性化と地域の活力の再生を進めるため、行政ばかりでなく町民・企業・団体など様々な方が連携し一体となって取り組む具体的な方策をお示しするものです。

今後はプランに基づき、町内一体となって各種事業に取り組みます。



秋サケ水揚げ風景

■プランの構成

プランは次のような内容で構成されています。

らうす産業活性化プラン

<めざす姿> ⇒ このプランがめざす当町の将来の姿です

人・まち・自然いきいき 知床新時代 ～魚の城下町らうす～

<基本姿勢> ⇒ 産業活性化に向けて取組を進める際の基本的な姿勢です

協働のまちづくり 自助・共助・公助 ～協働と役割分担～

<めざす姿の実現に向けた目標> ⇒ 取組を進める際の目標です

- ◇安定的な漁業生産の確立
- ◇地場水産品の販路・消費拡大
- ◇海洋深層水の利用・消費拡大
- ◇通過型から滞在型観光への転換

<産業活性化に向けた取組> ⇒ 様々な方が連携して取り組む具体的な方策です

- ◇地場水産品を核とした産業活性化の推進
- ◇海洋深層水の利活用による産業活性化の推進
- ◇世界自然遺産「知床」の利活用による産業活性化の推進

<プランの推進> ⇒ プランの情報発信、進め方、評価の方法についての考え方です

- ◇プランの周知
- ◇プランの推進
- ◇プランの評価

■プランの内容－具体的な取組－

プランでは産業の活性化に向け、次のような取組を進めることとしています。

◇地場水産物を核とした産業活性化の推進

地元の水産物を利用して、基幹産業である漁業を中心とした産業の活性化を進めます。

《主な取組》

- 漁業資源量の調査や漁場海洋状況調査の実施
- 地域資源を利用した製品研究・開発の実施
- 水産物の消費拡大のため朝市・夕市の実施
- 町外販路拡大のための販売拠点の開設
- 学校給食における地場水産物の利用拡大 など



ごっこ市

◇海洋深層水の利活用による産業活性化の推進

本格的な供給が始まった海洋深層水の利用を増やし、様々な産業の活性化を進めます。

《主な取組》

- 健康づくり分野における利用の検討
- 利用例や研究結果など情報提供
- 販売促進活動の実施 など



深層水 給水施設

◇世界自然遺産「知床」の利活用による産業活性化の推進

世界自然遺産「知床」の豊かな自然を利用して、観光をはじめとした様々な産業の活性化を進めます。

《主な取組》

- 町内施設の利用の推進
- 漁業資源を利用した産業体験観光の充実
- 知床の自然を利用した体験型・滞在型観光の推進
- 健康づくりに着目した観光メニューの検討
- 修学旅行の誘致 など



「自然とみどりの村」スノーシュー体験

■らうす産業活性化プランの詳しい内容について

今後は、町民・企業・団体の皆様と行政が連携・協力して、らうす産業活性化プランが掲げる事業に取り組みます。

なお、プラン全部は役場・産業活性化プロジェクト（役場 水産商工観光課）においてご覧いただくことができます。また、役場ホームページからもご覧いただくことができます。

〔ホームページアドレス <http://www.rausu-town.jp/20081008000>〕

【お問合せ先】

羅臼町 医療再生・産業活性化推進本部
産業活性化プロジェクト（羅臼町水産商工観光課）

電話 0153-87-2128

皆さんの心の健康は保たれていますか？



◎調査の概要説明

調査期間 平成20年9月22日から10月3日
調査対象 平成20年8月末現在で羅臼町に住
 民登録されている30歳以上の住
 民から、無作為に抽出された555名

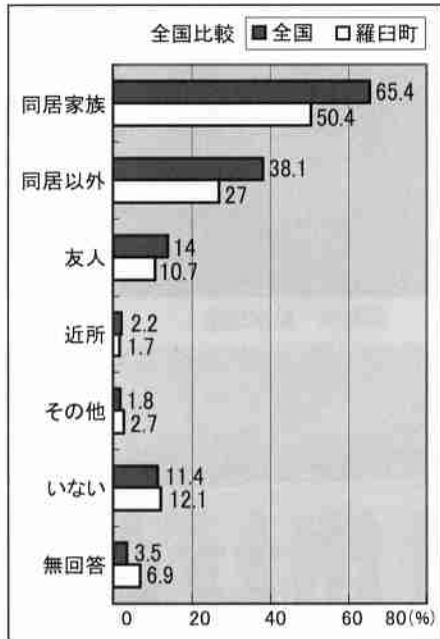
調査方法 羅臼町保健推進員により調査票
 を配布。自己記入してもらい封入
 し、後日保健推進員が回収した。

調査結果 有効回答数 555名中495名から回
 答があった。(89・2%)そのうち
 17名には、用紙に記入がなく無効
 とした。

今、私たちの日々の生活は不況や少子、高齢化などの社会の影響を受け、ストレスと無縁に暮らしている人はいないような状況ではないでしょうか。そのような中で羅臼町では自殺による死亡率が高く、数年前から心の健康についての取り組みを行ってきました。今回は町民の皆さんの心の健康状態がどのようになっているのかを知りたく、アンケート調査を実施しました。アンケートの結果をダイジェスト版でお知らせします。皆さんの心の健康状態はいかがでしょうか。

Q1

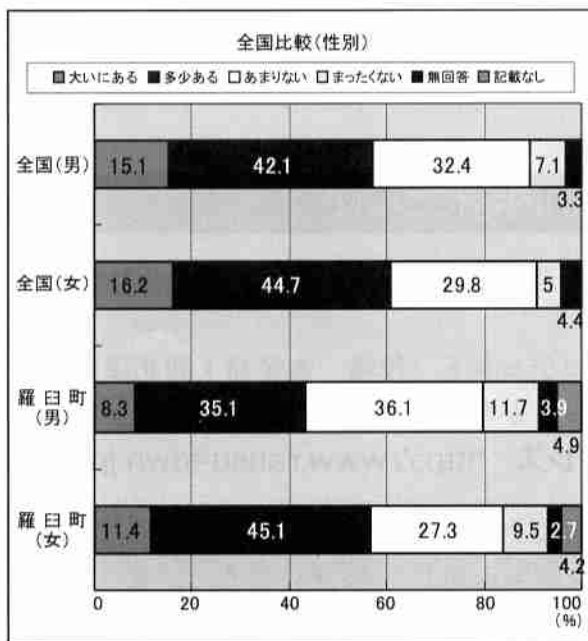
あなたの周囲の人たちとの関係についてお聞きます。必要なとき、あなたに物質的・金銭的な援助をしてくれる人はいますか。



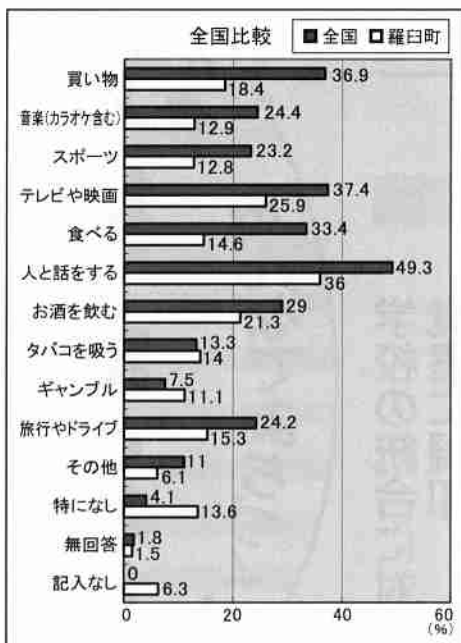
Q2

あなたは、この1カ月間に不満・悩み・苦勞・ストレスなどがありましたか。以下の中であてはまるもの1つだけに○をつけてください。

全国に比べ多くの項目で低い割合であることがわかります。援助してくれる人が「いない」と答えた人は全国の割合より上回っています。

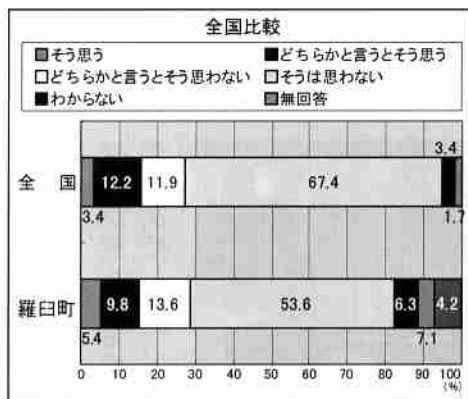


羅臼町では不満や悩み、ストレスが「ある」と答えたのは全国に比べ男女共に割合が低く出ています。特に男性では「大いにある」「多少ある」を足しても43・4%です。



Q4

あなたが、日常生活での悩みやストレスを解消するために、よく行うことはなんですか。



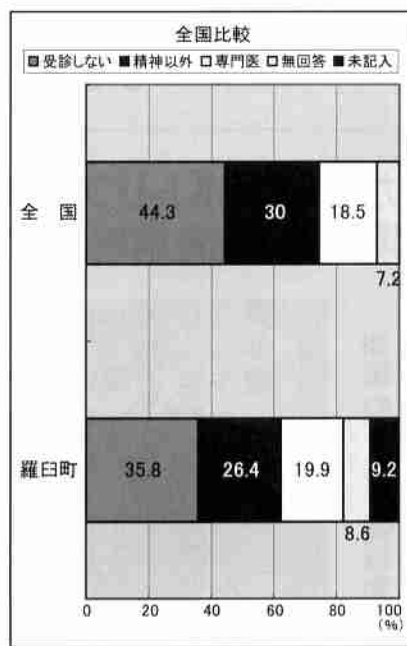
羅臼町では「そう思う」と答えた人が全国よりも多く、統計的な差がありました。相談しないことが自分を追い詰めてしまうことになりかねません。

Q3

あなたは悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思いますか。



「受診しない」と答えたのは男性に多くみられました。また、若い世代ほど「受診しない」と答えていました。



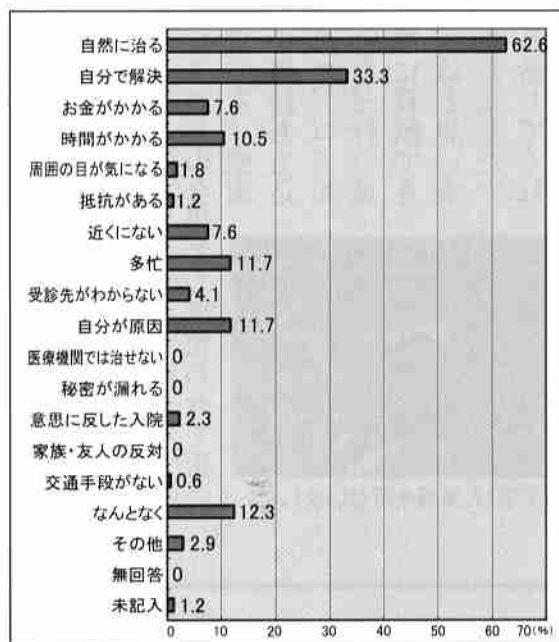
Q5

仮にあなたがよく眠れない日が2週間以上続いたら医療機関を受診しますか。

全国に比べ多くの項目で低い割合になっていました。全国よりも高いのは「たばこを吸う」と「ギャンブル」「特になし」でした。自分なりにストレスをコントロールする方法を持つことは、とても大切です。

回答が多かったのは「自然に治る」「自分で解決できる」でしたが、不眠は心の健康の不調によって起こってくるものも多く、治療が必要なものもあります。自然に治るのを待っている、うつ病を初めとした病気の治療を遅らせることにもなります。どんな病気も早期発見、早期治療が大切です。不眠や過眠（眠りすぎる）が2週間以上続くようなら、医療機関を受診しましょう。また、役場保健師も心とからだの健康相談を行っています。秘密は守られますので、ご活用ください。

電話 87-2161
メールアドレス kenkou-iban@rausu-town.jp



Q6

Q5で「受診しない」と答えた方に質問します。それは、どのような理由からですか。



城下町のわだいな

みんながまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。
みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

学校の統合に対する 覚書に調印



昨年11月25日に植別小中学校が春松中学校・春松小学校と、そして、今年3月30日に飛仁帯小中学校が羅臼小中学校と平成22年の4月に統合する事に対しての覚書に調印を行いました。

それぞれの町内会長の思いはひとつで「地域に学校が無くなる事は残念だが、子ども達のためを考え決断した」と話されていました。



11月25日に植別小中学校で行なわれた調印式の風景



3月30日に飛仁帯小中学校で行なわれた調印式の風景



5月11日(月)

北海道コカ・コーラボトリング(株)が 知床の環境保全活動を地域とともに推進

知床の自然保護活動に協力するため、約31万円の寄付を頂きました。これは、昨年4月から本年3月まで一年間に町内に設置されている自販機で売り上げた飲料の売り上げの一部を寄付して頂いたものです。この寄付は昨年に引き続き2回目となります。ありがとうございました。



4月30日(木)

商工会青年部が 羅臼グラウンドで 清掃活動

羅臼町商工会青年部は、部の美化事業の一環として羅臼グラウンドの清掃活動を行いました。

青年部長の鈴木陽助さんは「オジロまつりの会場として使わせて頂いている。感謝の気持ちも込めて、ゴミ拾いなど行い地域に貢献できればと思います」と話してくれました。



重たいゴミも手作業で運び、清掃を行ないました。

4月22日(水)



大正琴のメロディーに、みなさん聞き入っていました。

グループホームしおさいで 大正琴のしらべをプレゼント

大正琴サークル琴友会がグループホームしおさいを訪れ「北国の春」など9曲を入所している方々にプレゼントしました。会長の岩瀬和子さんは「今年の琴友会の目標として福祉施設などを慰問しようと考えています。まず始めに、町内の施設であるしおさいのみなさんに聞いていただくこうと思いい来ました」と話してくれました。入所している方たちは、手拍子をし、歌を口ずさみとても喜んでいました。2回ものアンコールがあり、大変楽しいひと時となりました。

4月24日(金)



観光協会が、道の駅周辺など 観光地の清掃実施

知床羅臼町観光協会と羅臼町が協力して、道の駅周辺や熊の湯、その他数箇所の観光地周辺の清掃活動を行いました。

空缶などのゴミが集められる中、小さなゴミなのですが、「タバコの吸殻」がとても多くありました。小さくてもポイ捨ては、不法投棄につながります。ポイ捨ては、やめましょう！



5月12日(火)



多くの方が参加して、清掃活動をして下さいました。

定置部会が羅臼川と春荻古丹川を清掃

羅臼漁協サケ定置部会が羅臼川と春荻古丹川の二手に別れ川岸を中心に清掃活動を行いました。これは、毎年、サケの稚魚放流式に合せ行なっているものです。



木製遊具を設置しましたので、お使い下さい。

参加者は「ゴミ拾いすることを知っていて、だれか捨ててるんじゃないか」などゴミの多さに驚きながら、ゴミを拾っていました。また、当日は、役場職員も清掃活動を行なっており、終了後に昨年同様、木製遊具の設置も行ないました。

5月8日(金)



地域活動支援センター「とつどる」が 河川敷の清掃ボランティア

地域活動支援センター「とつどる」が羅臼川河川敷の清掃を行いました。何故ゴミ拾いをはじめたか伺ったところ、「週に3回程度健康増進のためウォーキングロードを利用している。その際、ごみの多さに気づき、清掃活動しよう」と思いついたとのことでした。

指導員の対馬由美子さんは「世界自然遺産の町なのにごみが多い。少しずつでもきれいなになれば」と話してくれました。みなさんありがとうございます。



しっかり分別しながら、ゴミ拾いを行なっていました。

「とつどる」とは…町内在住の障がいを持った方が自立した社会参加を出来るように支援し、楽しく活動できる場所です。

町政に対する「意見・要望」

今回は、役場入り口に設置しております「町政ご意見箱」に投函されましたご意見を紹介いたします。

税金滞納者に甘いと思います。

私が勤めている会社の人なのですが、毎月一定額を支払っています。でも、ほとんど減っていません。生活が苦しいのならまだわかります。でも、その人を見てみるとそんな所はなく買いたいものを買って、食べたいものを食べるの生活をしています。一生懸命納付期限内に収めている人がいるのに滞納している人の方がいい生活なのは、変ですよね。「払えない」の言葉を真に受ける役場はどうなのでしょうか。

住宅ローンのように計画を立てて支払いをしてもらうとか雇用主を通じて多く払うとかしなければ払ってもらえないですよ。

たくさん滞納している人がパチンコしているのは変です。もっと厳しくしないと羅臼町はダメになりますよね。

同じ収入で同じ税額なのに払える人、払えない人がいるのは不平等です。いい結果を期待しています。※ご意見へのお答えは9ページ、TAXコラムをご覧ください。

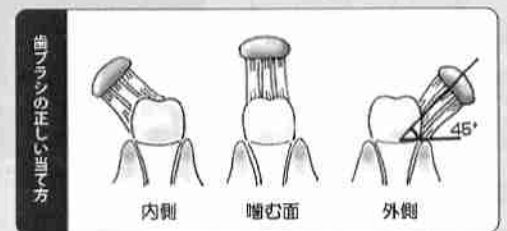
保健福祉課
☎87-2161

今月のヘルスチェック

「ご存知ですか？」
ハチマルニイマル
8020運動

みなさん、こんにちは。【8020運動】とは、「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という運動です。健康で長生きするためにも、食べることは欠かすことができない重要なことです。歯を健康に保つためにできることは、どのようなことがあるのでしょうか？

基本となるのは毎日の歯みがきです。歯みがきはただ磨けばよいというものではありません。上手に磨くコツがあります。①力を入れすぎず、痛くない程度に小刻みに動かして磨く。②1本の歯の全ての面を細かく磨く。③磨く順番を決める。(磨き残しを防ぐため)④歯ブラシの角度を変えて磨く。また、自分で行う日々のお手入れに加え、年に1～2回、歯科医院で歯科検診を受けることをお勧めします。歯科検診により、お口の中の変化に早く気付くことが出来ますし、専門家の指導を受けることも出来るのでよいでしょう。



平成20年度町長交際費支出状況の公表

町では、公正性と透明性を図り、町民から信頼される町政を推進していくため町長交際費を公表します。

公表は年1回、前年度に支出された町長交際費の支出状況について行います。交際費の支出区分は、次のとおりです。

- (1) 会費 各種団体等が行う会合等に出席する場合の懇親会費等
- (2) 祝儀 各種団体等が行う式典等に対するお祝いの金品等
- (3) 香典及び生花等 町長が特に必要と認める場合の香典及び生花等
- (4) 見舞い 町長が特に必要と認める場合の見舞い金
- (5) 土産品 来客又は訪問先などへの土産品代(町政運営上、特に必要と認められる場合のみ)
- (6) 懸案事項等 町政運営上における懸案事項等の処理に要する経費

区分	(1)会費	(2)祝儀	(3)香典	(4)見舞い	(5)土産品	(6)懸案事項等	計
件数	23件	8件	3件	0件	8件	3件	45件
金額	139,700円	53,235円	26,000円	0円	313,277円	28,000円	560,212円

寄附・寄贈あつがやひろばしました

交通安全対策

高津 敏久 様

消防団団旗作成

菅原水産(有)

代表取締役 菅原雄作 様

根室北部消防事務組合

羅臼消防団・消防署互助会

会長 西山修次 様

知床・羅臼まちづくり基金

【知床保全事業】

知床羅臼町観光協会

会長 辻中義一 様

羅臼漁業協同組合

代表理事組合長 田中勝博 様

北海道コカ・コーラボトリング(株) 様

【診療所建設事業】

朝倉 奉文 様

神成 新 様

村山 榮一 様

(平成21年3月11日～平成21年5月11日受付分掲載)



～我が家の深層水～



今月号から、深層水を用いたレシピや深層水に関する情報を提供するコーナーを設けました。
必要な人は切り取ってファイルし、レシピ集を作成しましょう！

深層水原水で「ご飯」を炊いてみよう！

【材 料】

- ・米5合に対して、深層水（原水）50cc+水道水
 - ・米4合に対して、深層水（原水）40cc+水道水
- }
- ・米1合に対して、深層水（原水）10cc+水道水

【作り方】

- (1) 米を水道水でよく洗う。
 - (2) 深層水（原水）と水道水を必要分量（上記）入れ、お米を炊く。
- なお、1時間程度漬けてから炊くと、更に良い。

すると…

- ☆ミネラルたっぷり、もちもちとした深層水ご飯の出来上がり！
- ☆深層水のほんのり塩味により、ご飯の甘さが引き立ちます！

なお…

- ◆深層水は、きれいな容器に入れ、直射日光が当たらない涼しい場所、もしくは冷蔵庫で保管しましょう。
- ◆深層水は10日間を目安に使い切ってください。

深層水コラム～深層水とマグネシウム～

（鹿児島純心女子大学 武敏子准教授の講演より）

現代人は慢性的にマグネシウムが欠乏していると言われており、マグネシウムが欠乏すると、動脈硬化や心筋梗塞をはじめ、糖尿、神経・筋肉系の障害、精神疾患(抑うつ、妄想、不安、興奮など)、頻脈、不整脈、食欲不振、消化不良、免疫機能の低下など、様々な疾患のリスクが高まります。

深層水には、他のミネラル水や精製塩に比べマグネシウムが多く含有しているため、普段の食生活に用いることで、マグネシウムを効率的に補給できます。

町民の皆様で、「料理に深層水をこんなふう
に使うとおいしいよ！」などといった情報がご
ざいましたら、是非ご連絡ください!!

（ご連絡先）

- ・羅臼町水産商工観光課：0153-87-2162
- ・知床らつず深層水給水施設：0153-87-2123

きりとり線

TAXコラム

（税務課通信）

投書にて、貴重なご意見いただきありがとうございます。

滞納に対する取組みについては、これまで「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」との連携による悪質滞納者への処分、また当町独自の滞納処分を実施してまいりましたが、結果としてこのような「滞納者に甘い」とのご指摘を受けたことは重く受け止めなければなりません。

今後もこれまでの滞納処分内容に甘んじることなく、粛々と滞納額圧縮に努めると共に、このようなご意見を支えに滞納者に対し毅然とした態度で対応したいと思います。

町税滞納収納額の動き（単位：円）

区 分	H21/3月末	H20/3月末	増 減 額
税務課収納額	30,702,049	35,798,276	△ 5,096,227
広域機構収納額	15,655,702	22,130,384	△ 6,474,682
収納合計額	46,357,751	57,928,660	△11,570,909

〈お問合せ先〉役場税務課 Tel.87-2113

いきいき! サークル活動!!



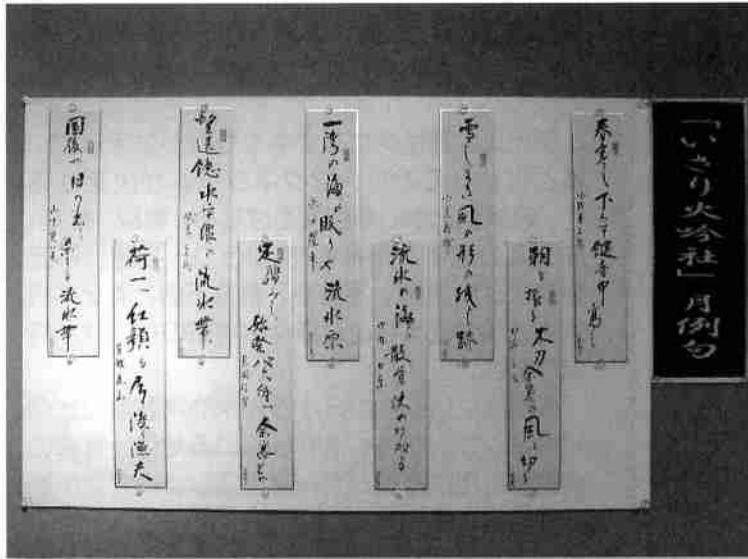
公民館ロビー展

サークル情報満載!!

ただ今、公民館一階ロビーでは、町内の文化サークル・団体の紹介を行っています。

各サークルの活動内容を紹介したもののや、作品等が会員の皆さんの工夫により思い思いに展示され、あたたかい手づくり感いっぱいロビー展になっています。

「お知らせコーナー」では、文化協会加盟サークルや公民館利用団体登録をしているサークルの情報



報が紹介されておられ、活動曜日や時間帯及び内容を知ることができ、町内で活動している文化サークルの情報が一目でわかるようになっていいます。今後、月替わりを目途にサー

絵手紙サークル 作品展



クルの展示を行っています。く予定でおりますので、ぜひお立ち寄りください。

また、ほとんどのサークルで、年間をとおして新規会員を募集していますので、いつでも入会することが可能です。サークルによつては、体験入会もできますのでお気軽にご相談ください。

園児による作品展も お楽しみに!!

その他にも公民館事業では、幼稚園等と連携して、年間を通じて園児のつくる作品展なども予定しております。

その都度、広報等でお知らせ致しますので、ぜひご覧ください。



(4/28～5/7開催)



出版社22社より 本のご寄贈をいただきました。



休室日
5月29日(金)

北海道新聞社が企画し、出版社22社の協力で行っている「あなたの街に本を贈ります」という事業に昨年応募し、70件以上の中から羅臼町が選ばれ約500冊の本が届きました。

反響と喜びの声

「買おうと思ってた本があった」
「おもしろそう!」
「全部もらったの〜?すごい」



公民館ロビーに展示中

出版されて2年以内の新しい本がいっぱいあります。今年度の図書購入予算が約120万円しかない中、その3分の2に匹敵する本が届き、現在整理作業にうれしい悲鳴をあげています!

公民館ロビーに展示中の本は順次貸出しができます。あなたの情報基地としてお役立て下さい。

「あなたの街に本を贈ります」応募原稿 知床を走る図書館バスに本をくださ〜い!

知床半島に位置する羅臼町には自慢できるものが3つあります。(本当はもっとたくさんあります。世界自然遺産となった大自然。だしをとった日本一の羅臼昆布。そして子ども達に愛されている「図書館バス」かもめ号)です。

かもめ号は、知床半島の海ぞいの一本道を町内どこでも本を届けるために走っています。車の無い高齢者や赤ちゃんのいる家庭、学校や幼稚園等を巡回しています。

子どもが本に親しむためには、身近に本がある環境を整っていることが大切です。好みの本をさりげなく手渡ししてくれたり、相談にのってくれる司書がいることも大きなポイントです。

羅臼町では、その大事な一翼を担うのが自慢の「かもめ号」。もう20年の歴史があります。黄色いバスはみんなの人気者。道ゆく子ども達は嬉しそうに手を振ります。

しかし、町財政は危機的。図書購入費が激減して、かもめ号にはなかなか新しい本が買えません。古い本を大切に修理しながら使っています。どうか新しい本を満載して巡回できるように、かもめ号に本を寄贈していただけますようお願い致します。

年々町に活気がなくなり、病院が診療所になつて、ますます人は町外に転出して行きます。漁業が不振でやむなく転出していく人も増えていきます。そんな羅臼町の未来を明るく照らしているのは、本が好きなお子も達が確実に育っていることです。想像の翼をはためかせ、知識を蓄えた子どもを育てる読書活動が、大人の都合でいの一掃に切り捨てられないように、この希望の光を絶やさなためにも図書館活動を粘り強く続けていきたいと思っています!

羅臼町公民館図書室
菊地理恵子

新刊案内



「ロコモーション」朝倉かすみ「エツジ上・下」鈴木光司「プリンセス・トヨトミ」万城目学「こいしり」島中恵「望郷の道上・下」北方謙三「蝶々晴々」小川糸「暴雪圏」佐々木譲「結婚不成立」シドニー・シエルダン



魅力いっぱいの本棚

寄贈「ゲゲゲの女房」

武良布枝著 実業之日本社



水木しげると連れ添って半世紀。赤貧の時代、人気マンガ家の時代、妖怪研究者の時代。常に身近に寄り添っていた妻がはじめて明かす夫と歩んだ夫婦の半生を綴った初エッセイ。

旬街道



羅臼漁協女性部長

田中郁子さん

夢は膨らんでいきます
～母ちゃんのごっこ市～

今回で3回目の開催になった「母ちゃんのごっこ市」。

運営の中心として活躍されている羅臼漁協女性部長田中郁子さんにお話を伺いました。「羅臼には、捨てられている魚がたくさんあります。その魚を何とかしたいと思い始めました。」

平成20年の4月に漁協女性部の会議で議題に出し、みんなに協議してもらいました。そして、協議を重ねた末、失敗してもいい、一回やるうーという事で10月に第1回の「母ちゃんのごっこ市」を開催しました。

ごっこ市は、女性部の有志が主要メンバーとなり現在28名が参加して、もりあげてくれています。おかげさまで、反響もよく今回で3回目を開催する事になりました。

また、羅臼漁協浜駐車場で行なっているごっこ市とは別に、札幌のHUGマート（札幌市中央区狸小路）で6月4・5日に「出前ごっこ市」をすることも決まっています。

ごっこ市ではお客さんとの会話などを楽しんでいます。そして、売り上げの中から貯金をして、視察旅行などしたいと考えてます。とにかく、ごっこ市はみんなの協力があるから出来ることなので、話し合いをしながら進めて行きたいと思っています。

これからのについても、いろいろな案があるので夢が膨らんでいきます」と、話してくれました。

人の動き

平成21年4月末現在
()内は平成21年2月末対比

人口	6,163人	(-27)
男	3,070人	(-18)
女	3,093人	(-9)
世帯	2,197世帯	(-4)

編集後記

人の笑顔はいいものです。

年度変わりは忙しいものです。仕事が詰まって難しい顔になってしまいます。でも、取材でしおさいに行き、みなさんの笑顔を見ていて私の方も笑顔になっていました。

これからも、笑顔を忘れず取材して行きたいと思います。

(K)

羅臼いさり火吟社

一湾の海の眠りや流氷原

雪しまき風の形の残し跡

足踏みし始発バス待つ余寒かな

荷の中に困詠りも入れて渡り漁夫

朝な振る木刀や余寒の風を切る

川下り菜の花香る浜離宮

荷一つ紅顔も居り渡り漁夫

望遠鏡水平線の流氷帯

渡り漁夫くのに土産をぶら提げて

浜田 羅牛

小泉 恭輔

長岡 佳雪

竹内 日奈

川端 尚浪

山中 英美

宮腰 鹿山

伏見 三千代

小野 奇千鶴枝

3月例会旬
平成21年3月



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 平成21年5月号

編集/羅臼町 総務企画財政課 広報統計係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2111
http://www.rausu-town.jp/